

第 20 回 下呂市上下水道運営委員会

(概 要 版)

令 和 3 年 1 0 月 8 日

下呂市役所 生活部 上下水道課

第 20 回 下呂市上下水道運営委員会 会議録

【日時】 令和 3 年 10 月 8 日 金曜日 13 時 30 分から 14 時 47 分まで

【場所】 下呂市役所 下呂庁舎 3-1 会議室

- 【次第】
- 1 開 会
 - 2 市長あいさつ
 - 3 運営委員会委員自己紹介
 - 4 運営委員会について
 - 5 議 題
 - ① 会長、副会長の選出について
 - ② 運営委員会としての取り決めについて
 - ③ 下呂市上下水道事業について
 - ④ 次回の運営委員会について
 - 6 閉 会

【出席者】 <委員>

伊東 祐 ☆会長
二村 チズ子 ☆副会長
鈴木 裕識 ☆学識経験者
内木 孝之
熊崎 武司
福永 和也
岡田 佳香
吉川 俊行
今井 美佐子
野村 勝
森 哲男
高木 祥子
高井 範和

<事務局>

山内 登 (下呂市長)
藤澤 友治 (生活部長)
今村 正直 (上下水道課長)
片岡 季彦 (上下水道課 総務係長)
岩田 考広 (上下水道課 水道係長)
庄田 剛 (上下水道課 下水道係長)

【欠席者】 <委員> なし

【議事等の摘要】

1. 開 会

○事務局 資料に基づき説明

2. 市長あいさつ

こんにちは。下呂市長の山内でございます。

今回は、新しい委員の方々にご参加いただきまして、新たな上下水道運営委員会ということで開催をさせていただきます。

皆様方の任期は10月5日から3年間という、長い期間になりますが、いろんな形でご指導賜ればと思っております。

また、この委員会に新たな委員さんということで、学識経験者として、岐阜大学工学部准教授であらせられます、地球環境学博士でもある鈴木裕識先生に、今回からご参加をいただきます。

いろんな専門的な見地から、いろんな御意見を賜りたいということで、今回お願いをして、お越しいただいております。また後程、ご本人からもお話があるかと思いますが、またどうぞよろしくお願いを申し上げます。

今回から上下水道のいろんな説明を事務局からさせていただきますが、現状は極めて厳しい状況だということでございます。今、飛驒市でも料金改定に向けて、取り組まれているとお伺いしております。

コロナの影響があって、非常に経済的にも逼迫している状況の中で、すぐやるという話ではございません。もちろんコロナが終息して経済が上向きになって、皆様方の生活が安定したところで、このような話題をまた出させていただきたい。ただやっぱり、現実から目を背けるわけにはいきませんので、やっぱりこの現実を見据えて考えていかなければなりません。

昔から安全と水はただという日本人の常識がございます。安全は、警察がしっかりしておりますので、ただでも結構でございますが、水だけはそんなわけにはまいらないような状況になっております。また、皆様方にいろんなご提案をさせていただきますので、ご意見はいろんな形でおっしゃっていただきたい。

我々とする、皆様方からの民意を、しっかりと反映した上で決定をさせていただきたいと思っておりますので、本当に今日から3年間、いろんな形でご指導賜ればと思っております。

どうぞよろしくお願いを申し上げます。ありがとうございます。

3. 運営委員会委員自己紹介

○事務局 資料に基づき説明

- ・委員会名簿の順に各委員が自己紹介
- ・事務局職員は、生活部長、上下水道課長が自己紹介し、それ以下は資料での紹介に代える。

4. 運営委員会について

○事務局 資料に基づき説明

- ・運営委員会は委員 13 名以内で組織する。
- ・任期は、令和 3 年 10 月 5 日から令和 6 年 10 月 4 日までの 3 年間とする。
- ・会長及び副会長を各 1 人置き委員の互選によってこれを定める。
- ・議事は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会長が決する。
- ・庶務は上下水道担当課が担当する。
- ・規則に定めるもののほか、運営委員会に関し必要な事項は会長が定める。
- ・委員会の会議を、公開とするか非公開とするかを定めがないため今回諮る。

5. 議 題

① 会長、副会長の選出について

○事務局 資料に基づき説明

- ・会長、副会長が選出されるまでは、生活部長が進行

●結果

- ・会長は、委員の推薦により伊東 祐氏を選出。
- ・副会長は、会長の任命により二村チズ子氏を選出。

② 運営委員会としての取り決めについて

○事務局 資料に基づき説明

- ・会議を公開とするか、非公開にするか決めていただきたい。
- ・会議の内容は会議録で広く周知する予定。

●結果

- ・非公開とする。
- ・条件付とし必要に応じて委員会で審議し公開とすることもある。
- ・会議録の公表は差し支えない。

〈質疑・応答〉

○委員

- ・今までの会議の中でそういう要望があったのか。他の会議も全てそういう動きなのか。また、何か背景があるのか

○委員

- ・公開は難しいのではないか。

○委員

- ・市民生活に関わる個人の懐に係る重要な議事を審議するということになり、委員それぞれ自由な発言を尊重されるべきであり、市民の方の参加を拒むわけではないが、情報公開はきっちりとするというお話なので、私達委員の自由な発言を阻害しないために、非公開でやっていただいたほうが、非常にありがたい。

○委員

- ・この時点では、基本的に非公開とするという方針がいいかなと思う。
市も、市民からの情報を公開した上で、ぜひこの会議の中でいろいろ話を聞きたいという要望があれば、その時にこの委員で決めて判断すればいいのではないか。

③ 下呂市上下水道事業について

○事務局 資料に基づき説明

〈質疑・応答〉

○委員

- ・上下水道事業の状況や運営等について説明を受けるまでは、蛇口を開けば水が出るのは当然という思いでいたので、住民の意識を積極的なPR活動ができないか。

○委員

- ・広報の観点、重要だと思います。最近若い人はインターネットから情報を得ることが多いですので、ウェブサイトについても検討が必要だと思います。

○事務局

- ・検討していきます。

○委員

- ・下水道の料金は、平成27年に全市統一と認識したがそれでいいか。
- ・最初の頃旅館やホテルは、ちょっと変わった計算式があったが、今はもう完全にこの基本料金のやり方ということで解釈していいのか。

○事務局

- ・旅館ホテルの算定水量は前月入湯人員の95%としており、現在もこの算出です。

○委員

- ・下水道事業で不採算な小規模の下水道事業は不採算という解釈でいいのか。

○事務局

- ・これについては、次回以降に詳細な説明しようかと思っておりますので、今回は頭出しということですが、公共で運営している下水道が採算に合わないところが多いということです。

○委員

- ・大雨のときでも簡水ですけど濁ることもないし、ずっと使うことができた。
- ・日本各地の災害なんかのときに、本当に水のありがたさが思い知られる。
- ・実際経験していないので、それだけ身に染みていないかもしれないが、映像を見る限りでは、本当に水って大事だとつくづく感じている。
- ・今後みんなで頑張っって負担して盛り立てていくようでないといけないと思う。

○委員

- ・今の下呂市の現状は、小坂と金山の東がすごく漏水が多い。
- ・上下水道課の職員の方や浄水場の人たちが、24時間365日水の状態見ていて、危ないってところで直ぐに調査をして直していることを、市民の人たちもわかっていたらいいというのが、私の経験上思うところです。
- ・漏水に関して、10何年前からもうずっともう布設替えをしていただきたいとは、市には伝えてきているが、すごいお金がかかるということで、後回し後回しになっている。やっぱり先ほどの新聞や課長さんが言われたように、後回しにして、今ここで人口も減り、だんだんこれから人口も減ってきますと料金も減ってきます。それをやっぱり見据えてこれから今やっていかないと、やはり大変な目に遭うんじゃないかなというふうに私はちょっと思いました。

○事務局

- ・次回から今いただいた意見を積極的に、皆さんで審議してください。

④ 次回の運営委員会について

○事務局 資料に基づき説明

●結果

- ・次回委員会は、11月11日木曜日、場所はこの下呂庁舎とします。。

6. 閉 会

○会長

- ・長時間、ご検討ありがとうございました。次回またよろしく願い申し上げます。